

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	入居者と毎日一緒の空間で過ごしているうちに、職員は言葉遣いのエチケット・マナーが欠けてきている。	正しい敬語を使い、好感が持てる会話や応対ができる。	1. 内部研修を行い、自己を振り返る。 2. 職員一人ひとり、具体的な取り組み内容を掲げる。 3. 実践とその結果をまとめる。 4. 内部研修にて発表し、管理者とチームは助言や評価をすることで、介護の質を高める。	1か月
2	2	入居者は加齢による視力や四肢の機能低下もあり、食堂の椅子に長い時間座っていたり、居室で横になっている。回廊の廊下を歩いて過ごされている状況から、体操やレクリエーション、趣味活動がパターン化している。	その人の身体能力に合わせた機能訓練や活動を支援し、筋力保持、可動域が広がり、生活能力の向上と心も充実して過ごせる。	1. 入居者一人ひとりの身体能力の把握（センター方式） 2. ケアマネージャー、看護師、介護のスタッフで話し合い、個別の計画を立てる。 3. 必要な道具、材料準備、環境設定 4. 実践、結果、感想をチームで意見交換する。	1か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。